

いなむら市長の

「ひと咲き まち咲き あまがさき」

8月23日(火) 放送分

放送時間 7:45～、12:45～、16:00～

再放送 8/25(木) 7:45～、12:45～、16:00～

8/27(土)、8/28(日) 17:00～

テーマ：「**尼北の二つの伝統 ～行事と制度～**」

市長 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。今回も、元気いっぱい、市内の高校生の皆さんによる番組をお楽しみいただきましょう。それではさっそくスタートです。どうぞ！

福永 こんにちは！兵庫県立尼崎北高等学校 放送部です。

9月上旬に北高祭が行われます。今年の大人形はエコあま君に決めました。今回、大人形を作るにあたって多くの案が出ました。どのクラスも伝統を受け継ぐために、一生懸命プレゼンテーションを行いました。その様子と結果発表をお聞きください。

「2 - 3 プレゼンテーション」

私達3組は、大人形で作りたいのはダウンタウンです。作りたい理由は3つあります。1つ目はまず、今年は尼崎市100周年という事で、尼崎に関係するものを作りたいと思ったからです。ダウンタウンは尼崎を代表するお笑い芸人で、小さい子からお年寄りまで誰にも知られています。なので、一般公開のある北高祭では幅広い年代の方に見ていただき、楽しんでもらえると思うのでピッタリです。

2つ目は、尼崎はお笑いで有名で明るく楽しい市ということ、市単位で知ってもらいたいからです。尼崎と言うと、何かと悪いイメージをもたれることが多いのですが、テレビで活躍するダウンタウンの2人を作ることによって、尼崎は明るく楽しいイメージを持ってもらえるように生まれ変われると思います。

3つ目はお笑い界を代表する2人を作ることで、いろいろな人の笑顔のきっかけになってほしいからです。私は熊本地震を始め、笑顔を失うことが多かったので、私たちが作った大人形で、明るいイメージになってほしいからです。

3組の何事にも前向きな姿勢や、明るい雰囲気、団結力で大人形作成を通し、尼崎を盛り上げていきたいです。尼北の長い歴史の中で、初のコンビの大人形に挑戦し、一生の思い出にしたいです。是非、3組にダウントウンを作らせてください。よろしくお願いします。

## 「2 - 6 プレゼンテーション」

6組が作りたいたいのは、熊本城、あまっこちゃん、ちっちゃいおっさんです。

きっかけは2016年4月14日、最大震度7の地震が起きました。震度3以上の地震が長く続きました。熊本の復興には最大200億円がかかると言われています。これからもまだまだたくさんのお金を含め、支援を求めていると思います。その熊本を支援したいという気持ちがあって、この尼北でも募金活動を行いましたよね。ところで、話は変わりますが、今年が尼崎市制100周年の年なんです。私達はこれを踏まえ、熊本の復興の願いと尼崎市制100周年を記念する思いを込めてこの3つを制作することに決めました。構成は、熊本城をあまっこちゃん、ちっちゃいおっさんが下から支えている形にします。

6組は残念ながら合唱コンクールで入賞することができませんでした。ですが、合唱から大人形へ気持ちを入れ替え、合唱コンクールで団結した力を活かし、リアル・丈夫・過去最高を目指します。私たちの代が、尼北で歴史に残るよう、完成度の高い大人形を必ず作ります。今回の文化祭で必ず大人形を作り、最高の出来にするんで、是非私たちに大人形を作らせてください。お願いします。ご静聴、ありがとうございました。

## 「2 - 7 プレゼンテーション」

7組のプレゼンです。お願いします。(拍手)

今回、私たちがプレゼンするのは、高さ約校舍3階分、幅約1クラス分の尼崎市のマスコットキャラクターである、エコあま君を制作するという案です。

なぜ、エコあま君を制作したいのかというと、エコあま君と私達尼北生との間に共通点がたくさんあるからです。まず、1つ目はエコあま君の趣味が環境活動ということです。エコあま君は環境に対して関心が強く、エコスクールである尼北高校の生徒である私たちと同じように、環境保護に対して責任感を強く持っています。そして、それは尼崎市が環境保護に力を注いでいることの大きな宣伝となり、同時に尼崎北高校が環境に対し、積極的な活動を行っていることを、今回文化祭に来てもらった人たちに知ってもらい、地域規模で環境への関心を高めていくための一つのきっかけとなるよう、尼北生としてできる最大の方法だと私たちが考えたからです。

次にエコあま君はエコあまフェスタなどの大きなイベントに出演しており、市民からの認知度も高く、また作者の尼子騷兵衛さんは尼崎出身であり、それも共通点の一つです。そして尼崎市が市制100周年目を迎えるので、このマスコットキャラクターであるエコあま君を100周年の今年の文化祭で大人形として展示をしたいということが最も大きな理由です。

もしも、私たちがエコあま君を作ることになったら、エコあま君本人に尼崎北高校の文化祭に遊びに来てもらって、今年の文化祭をもっとより良いものにしようと思っています。よろしくをお願いします。

岩村 すごい、私の所はこれを作りたんだというのが伝わってきて、どの先生も私達も、すごいなって感心してました。今回、尼崎の市制が100周年ということと、テーマが百花繚乱。百花繚乱の百っていうのが、100周年とちょっと掛けている所があって、すごい百周年がアピールされていたという所とか、すごい色々な事を総合的に判断した結果、大人形は7組さんに！（キャ～～～！）

峯 他にもダウンタウンさんや金本監督などの案がでていましたね。

その人たちが学生の時は、北高の制服はすでに自由化されていたのでしょうか。

門田 そこで、生徒会長が制服自由化までの道のりを、全校放送で生徒に語りかけました。聞いてみましょう。

#### 「生徒会長・岩村さんの全校放送と事後インタビュー」

岩村 皆さん、こんにちは。生徒会執行部です。突然ですが、ここ最近、とても暑くなってきましたね。中学校や他の学校では、衣替えの移行期間が終わってそろそろ夏服に統一された頃でしょうか。

この尼北は、衣替えってないですよ。暑ければ半袖、寒ければ長袖のパーカーを着ている人もいれば、ベストを着たりリボンをつけたりと、皆さん思い思いの服装をしているでしょう。それは、尼北の魅力の一つである標準服制度だからできることですよ。ところで皆さんは、標準服を着てきてね。と言われた日にきちんと標準服を着ていますか。連絡が回ってこなかった、標準服って言われていたのにうっかり忘れていたという人もいるかもしれません。誰にでも、うっかり忘れてしまうことはあると思います。しかし、最近はそのうっかり忘れていた。というのが増えていませんか？

そのリボンを外したら、ベストを脱いたら標準服になる。そんな中途半端な格好で、標準服にいない場に来ていませんか。私たち生徒会は、そんな姿が増えているのじゃないかなと思います。そこで、この標準服制度がどのようなものなのか、県立尼崎北高校になってから65年目の今に至るまで、どういう経緯を辿ってきたものなのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。先輩方から受け継いできた尼北の伝統を守りながらも、私たちの世代にあった尼北の姿を探し、それを後の世代に伝えていく。それを目標に皆さんと一緒に標準服制度を切り口にして尼北フリーダムの精神や自主自立の精神の根本にあるものが、どのようなものであるかを少しでも掴んでいきたいです。ご協力よろしくお願いします。

岡村 生徒会長の岩村香菜さんにインタビューをしたいと思っています。どうして、このような呼びかけをしようと思ったのですか。

岩村 私が、前の年度の時にスマートフォンの話をしたんですけど、それをすごい考えている時に、この記念誌っていうものと出会って、この記念誌を読んでいたら、今まで何も思ってこなかった尼北フリーダムとか自主自立の精神がどんなものかとか、全然言葉だけしかわからなかったものが、少しわかったような気がして、で、その自由な校風っていうのがすごい価値のあるものやなっていうのを思ったので、それをみんなにちょっとでも感じてもらいたいなと思って、この企画をしています。

岡村 これを機に、北高生にどのようなことを求めますか

岩村 これを機に求めたいことは、そのフリーダムとか自主自立の精神がどんなものかというものは多分、答ってなかなか見つからないと思うので、答は見つけないでもいいけれど、それについて自分で考えてみてほしいなっていうのがあります。

岡村 ありがとうございます。これから、尼北がどうなっていけばいいと思いますか。

岩村 今まで、長い歴史があったんですけど、その中でずっと守られてきた尼北フリーダムとか自主自立の精神とか自由な校風っていうものがそのまま、後の世代に受け継いでいったらいいなと思っているのと、それがそのままの姿でっていうのは社会の情勢とかいろいろ違うんで、ダメなところもあると思うんで、今に合った姿で次の世代に受け継いでいけたらいいなと思っています。

山本 いろんな経緯があって、今の学校があるんですね。これからも先輩が残して下さった標準服制度を守っていきたいと思います。

山本 以上、県立尼崎北高等学校放送部がお送りしました。

市長 いかがでしたか？ それでは、次回の放送もお楽しみに！

以 上